

【病 弱】

石狩管内

北海道手稲養護学校三角山分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として国立病院機構北海道医療センター（西館）への入院者を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒063-0005 札幌市西区山の手5条8丁目1番38号
- 問 合 せ 先 TEL 011-633-3020
FAX 011-633-3023
E-mail sankakuyama-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.sankakuyama.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「自らの可能性を生かし、
心豊かに生きる人を育てる」

□ 概 要

本分校は二海郡八雲町で長い歴史を育んできた北海道八雲養護学校を前身とする学校です。独立行政法人国立病院機構八雲病院の札幌移転に伴い、令和2年8月から札幌市西区に校舎を移転し、「北海道手稲養護学校三角山分校」として新たにスタートすることとなりました。

高等部では、隣接する『独立行政法人国立病院機構北海道医療センター』に入院している神経筋疾患や重症心身障がいなどの生徒を対象に、高等学校と同様の学習から障がいの重い生徒に適した学習まで、一人一人の発達や障がいの状況にきめ細かく対応した教育を行っています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

「自分のもつ力や個性を発揮し、現在及び将来において、生き生きと充実した生活ができる生徒を育てる」

【 支援技術（AT）の積極的な導入 】

一人一人の障がいの状況に応じて、パソコンやタブレット等のICT機器やスイッチや補助具などの支援技術（AT：アシスティブテクノロジー）を積極的に導入し、学習環境の整備に努めています。

【 車いす生徒の体育・スポーツ等の推進 】

積極的に体育的活動に参加することによる自尊心向上等の観点から、積極的に車椅子でのスポーツ等を推進しています。また、体育では、eスポーツを活用した授業にも取り組んでいます。

【 個に応じた進路指導 】

地域の関係機関や事業所と連携を図り、就労体験学習など生徒一人一人の進路希望に応じた学習を進め、生徒の進路実現へ向けた環境づくりを行っています。

【 交流及び共同学習の推進 】

同年代の生徒との活動を通して、社会性や豊かな人間性を育てられるよう、他校との交流及び共同学習に取り組んでいます。

【 ICTを活用した遠隔授業の推進 】

遠隔授業システムや無料通話アプリなどを活用し、他校や特別支援教育センター、就労先などと、遠隔授業や就労体験学習を行っています。



ICT機器等を活用した授業



eスポーツを活用した授業



オンラインによる就労体験学習



オンラインによる交流学习



スティックスポーツ



フィリピンとの英語学習

■第1学年生徒の週時程表

【 重複学級 】

	月	火	水	木	金
1	自立活動	自立活動	社会	数学	美術
2	外国語	理科	情報	道徳	理科
3	数学	数学	職業 家庭	国語	音楽
4	国語	美術	国語	音楽	職業 家庭
5	情報	総合的な 探究の 時間	外国語	保健体育	総合的な 探究の 時間
6	社会		HR	保健体育	

* 登校時間 8:30 (月～金)

* 下校時間 15:40 (月・水・木) / 14:40 (火・金)

■教育課程の特徴

卒業後の社会生活に役立つ知識や技能、態度及び習慣を育成するための教育活動を展開しています。

普通学級では、高等学校と同様の教科学習を行い、基礎的な学力の定着が図られるよう教育課程を編成しています。

重複障がい学級では、生徒の実態に応じ、下部部や知的障がい特別支援学校の各教科、総合的な探究の時間、自立活動、生活単元学習、日常生活の指導等で教育課程を編成しています。

□ 各教科

各教科の目標や内容に基づき、知識や技能、思考力・表現力・判断力等の生徒の資質・能力が育まれるよう指導を行っています。日常生活や他教科等との関連付けを行い、興味や意欲をもって学習できるよう工夫しています。また、普通学級では、学習状況の確認のため定期考査も実施しています。

□ 自立活動の指導

生徒一人一人の実態に応じて、ICT機器などを含む補助具等の使用やコミュニケーション、自己理解など、学習又は生活上の困難を改善・克服し、社会参加に必要な知識・技能、態度や習慣を養う学習を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和4年度実績）

- 国立病院機構北海道医療センターでの継続療養～1名
- 自宅療養／NPO法人 札幌チャレンジド就労支援A型～1名

学校のWebページ

